

Vol.89

Vol.89 (2021年 冬号)

PMI 日本支部 ニュースレター

Best Practice and Competence / PM 事例・知識 ... 3

Activities / 支部活動 14

PM Calendar / PM カレンダー 19

Fact Database / データベース 20

Editor's Note / 編集後記 24

Best Practice and Competence / PM事例・知識

◆PMI Japan Festa 2021 結果報告	3
• PMI Japan Festa 2021 全体報告	
	レポート: PMI Japan Festa 2021 統括PM 森本 信一
• 地球温暖化に対していま、私たちにできること	
講師: 小野 悠希 様	レポート: セミナー・プログラム 鴨下 恵一
• COVID-19に立ち向かう武闘派CIOのココダケの話	
講師: 喜多羅 滋夫 様	レポート: セミナー・プログラム 豊田 光海
• 次世代・次々世代に繋ぐスマートシティを考える ～国際比較からの示唆～	
講師: 南雲 岳彦 様	レポート: セミナー・プログラム 豊田 光海
• 築地本願寺の経営改革	
講師: 安永 雄玄 様	レポート: セミナー・プログラム 近藤 昇久
• その他講演のグラフィックレコーディング	
◆委員会・部会活動内容紹介	12
• 医療プロジェクトマネジメント研究会	
	代表 岡橋 正明

Activities / 支部活動

◆PMI日本支部リーダーシップ・ミーティングLM2021開催報告	14
	PMコミュニティ活性化委員会 委員長 森田 公至
	LM2021運営チーム・リーダー 伊熊 昭等

PM Calendar / PMカレンダー

- PMI日本支部関連セミナー等

Fact Database / データベース

Editor's Note / 編集後記

◆商標等について

「PMI Project Management Institute」とそのロゴおよび「PMP」、「CAPM」、「PMBOK」、「OPM3」、「Quarter Globe Design」は、米国および他の国で登録されているプロジェクトマネジメント協会のマークであり商標です。プロジェクトマネジメント協会のマークの対象リストについては、プロジェクトマネジメント協会の法務部門へお問い合わせください。

「ITIL® (IT Infrastructure Library)」は、英国及び欧州連合各国における英国政府 Cabinet Office の商標又は登録商標です。

Best Practice and Competence/ PM 事例・知識

PMI Japan Festa 2021 結果報告

【Festa2021】セミナーレポート

PMI Japan Festa 2021 全体報告

レポート：PMI Japan Festa 2021 統括PM 森本 信一



PMI Japan Festa 2021

The future beyond new normal

ニューノーマルを超えた未来を考える

2021.11.6 sat～11.30 tue

リアルタイム配信 11月6日（土）、7日（日）

オンデマンド配信 11月30日（火）まで



新たな変異ウイルス、オミクロン株の拡大に警戒が高まり、新型コロナ禍はまだまだ続いています。

しかし現代には古に存在しなかった人類の知恵や技術があります。ビジネスやライフスタイルの変容を余儀なくされているものの、それに対応する中で新しい可能性も見えてきたのではないのでしょうか。

例えば私達PMI日本支部セミナープログラムは昨年から月例セミナーやFestaを完全リモートで開催していますが、リモート開催で如何に臨場感・ライブ感・ワクワク感を醸成するか、どのようにすればテレビ番組のようにスムーズに見栄えのする配信を行うことができるか、工夫を重ねる中で新たな気づきや学びがありました。チャットで参加者の所感や学びを参加者全員で共有できること、Q&Aで参加者が興味のある質問に「いいね」をつけることで参加者全員の総意として最も聞きたい質問を優先的に質問できることなど、会場開催とは違った形で参加者全員の一体感が醸成されるようになってきたと感じています。これはリモート開催だからこそできることだと言えます。

また、完全リモート開催に移行した昨年4月以降の参加者の皆様からのフィードバック（受講完了報告）を時系列的に分析することで、いくつか変化の傾向が明らかになりました。

例えば完全リモート開催移行前は東京都内での会場開催だったため、必然的に関東圏からの参加者が大多数を占めていたところ、完全リモート開催に移行してからは、関西・北関東・中部・東北・北海道・九州・四国さらには海外からの参加者の割合がいずれも増加傾向にあることが分かりました。そして参加者の皆様が、ライブ感・臨場感を重視しつつも移動時間や移動コスト・労力の削減というリモート開催の大きな利便性の恩恵を徐々に実感されていることが分かりました。さらに、今では多くの皆様がコロナ禍の収束後もリモート開催を希望されていることなど、これらすべてから参加者の皆様の変化が読み取れます。

つまり、積極的・建設的な意味でのニューノーマルはすでに始まっています。そしてそれはさらに進化していくことでしょう。ニューノーマルの先にいったいどのような未来が待っているのか、否、どんな未来にしたいのか、そのために何をするのか。

このような背景から、今年のFestaのテーマは「The

Best Practice and Competence/PM事例・知識

■PMI Japan Festa 2021 結果報告

future beyond new normal ～ ニューノーマルを超えた未来を考える ～」と設定しました。

今回もさまざまな業界から10名の講師に登壇いただき、参加者の皆さまにはニューノーマルの先に進むためのヒントを掴み取っていただけたものと考えています。

今年実施した運営上の新たな試みとして、

- 11月6日(土)・7日(日)のライブ配信終了後、11月末までオンデマンド配信を継続しました。これにより、ご都合によりライブ配信の受講が叶わなかった方々にも受講機会を提供できましたし、復習の意味で何度でも視聴いただく

ことが出来ました。

- 私たちが企画・実施している月例セミナーでは恒例となっている「グラフィックレコーディング」を今回のFestaでも全面的に取り入れることとし、講演後の振り返りにお役立ていただきました。本稿ではその全てを掲載しましたので、受講しておいででない方には講演の内容の一端をのぞいていただければ幸いです。

以下、講師10名のうちの4人の方々について、その概要をお伝えします。

◆講演一覧

2021年11月6日(土)

No	講師名	所属	講演テーマ
1	中村 俊裕 様	米国NPO法人 コペルニク Co-Founder & CEO	ボトムアップでの途上国課題解決を目指す コペルニクの活動
2	堀越 耀介 様	東京大学大学院教育学研究科/ 日本学術振興会特別研究員	いまビジネスで哲学的素養が必要とされる理由
3	木下 正文 様	(株)ABEJA 経営戦略統括部 執行役員	DXにおけるプロジェクトリスク管理とAI
4	小野 悠希 様	(株)ボーダレス・ジャパン ハチドリ電力代表者	地球温暖化に対していま、私たちにできること
5	西脇 資哲 様	日本マイクロソフト(株) 業務執行役員 エバンジェリスト	ヒトを動かすチカラ ～プレゼンテーションのテクニックに迫る～

2021年11月7日(日)

No	講師名	セミナープログラム担当者	講演テーマ
6	喜多羅 滋夫 様	(株)ラック 執行役員 IT戦略・社内DX領域担当CIO、 喜多羅(株)Chief Evangelist	COVID-19に立ち向かう武闘派CIOのココダケの話
7	篠崎 悦郎 様	(株)NTTデータ 技術革新統括本部 デジタル技術部 アジャイルプロフェッショナル担当	デジタル化の組織変革を促進する Scaled Agile Framework の導入
8	山田 耕資 様	(株)プランテックス 代表取締役社長	密閉型栽培装置による植物生産産業の創出
9	南雲 岳彦 様	(一社)スマートシティ・インスティテュート 専務理事	次世代・次々世代に繋ぐスマートシティを考える ～国際比較からの示唆
10	安永 雄玄 様	浄土真宗本願寺派築地本願寺 代表役員宗務長	築地本願寺の経営改革

【Festa2021】セミナーレポート(No.4)

地球温暖化に対していま、
私たちにできること

講師：小野 悠希 様

レポート：セミナー・プログラム 鴨下 恵一

【セミナー概要】

□開催期日：2021年11月6日 9:30～10:30

□タイトル：地球温暖化に対していま、私たちにできること

□講師：小野 悠希 様（株式会社ボードレスジャパン ハチドリ電力代表）

□講師のプロフィール：

- 2018年 ボードレスジャパンに大学新卒で入社。
その後同社にて、ミャンマーの小規模農家の所得向上のためのサービス開発や、グアテマラの貧困女性の雇用創出のためのアップサイクルアパレル事業の推進に取り組む。
- 2020年4月 スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリ氏を通じて環境問題の切迫した状況を知り、地球温暖化を止めることに人生をかけて取り組みたいという思いから、自然エネルギーだけを販売するハチドリ電力を立ち上げる。
- 2021年7月 ハチドリ電力代表に就任し、自然エネルギーの普及を促進している。

【講演概要】

小野様には、自己紹介に続き、地球温暖化の仕組みと現状、ハチドリ電力の内容と会社運営で得たご経験等についてお話いただきました。

人間が化石燃料を燃やすようになった1950年頃から二酸化炭素濃度が上昇し、それに伴い世界の気温も上昇しています。このまま放置すると不可逆的で深刻な状態に陥ると予想されています。小野様は、ミャンマーの人達のために働く先輩の影響でボードレスジャパンに入社し、スウェーデンの活

動家グレタさんをきっかけに、地球温暖化に取り組むことを決意されました。そして日本の電力の75%を占める火力発電を減らすことが最もインパクトあると考え、100%自然エネルギーのハチドリ電力を立ち上げました。

ハチドリ電力は、他社より安い電力料金を設定しながら、料金の一部を自然エネルギー普及や社会活動に寄付する等、契約者に負担をかけずに社会貢献の実感を与えています。共感した契約者が口コミで広めてくれる分、広告費をかけず低料金を実現しています。メンバーには、得意なことを任せることで、マネジメントコストを下げ、かつ自信をもたせて自走できる人材になるよう促していること等ご紹介いただきました。

世の中の多くの人は、自分が使っている電気が自然破壊につながっていることに気づいていません。無関心ではなく無認知の状態です。無認知が認知になると行動が変わることを実感し、それをハチドリ電力のミッションとして取り組んでいっています。

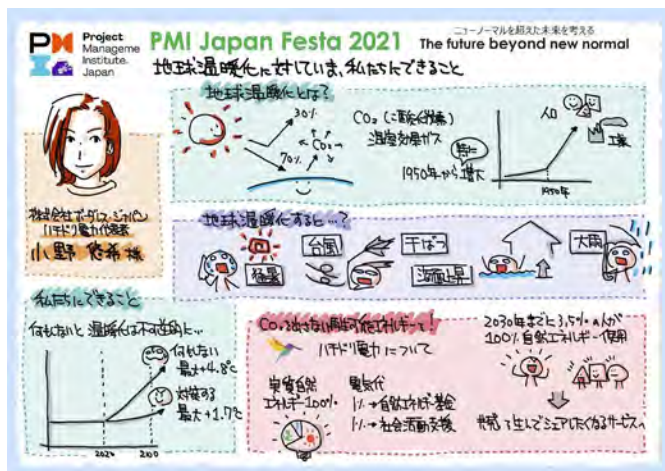
【講師担当余話】

今回小野様には、次の講演が行われる会場の控室からご講演いただきました。通信等の環境面に心配はありましたが、リモート開催だからこそ実現したご講演でした。ご多忙の中ご講演いただいた小野様には大変感謝しています。

無認知を認知に変えることで行動変化を導き、地球温暖化を防ごうと取り組まれ、それを熱心に語る小野様との打ち合わせ等を通じ、何もしていない自分に後ろめたさを感じつつ、ハチドリ電力の成功を祈念しています。

Best Practice and Competence/PM事例・知識

■PMI Japan Festa 2021 結果報告



図の拡大はココをクリック

【Festa2021】セミナーレポート(No.6)

COVID-19に立ち向かう 武闘派CIOのココダケの話

講師：喜多羅 滋夫 様

レポート：セミナー・プログラム 豊田 光海

【セミナー概要】

- 開催期日：11月7日(日) 9:30～10:30
- タイトル：COVID-19に立ち向かう武闘派CIOのココダケの話
- 講師：喜多羅 滋夫 様
- 講師のプロフィール：

- ・喜多羅株式会社 Chief Evangelist
- ・株式会社ラック 執行役員 IT戦略・社内DX領域担当 ダイドグループHD株式会社IT統括責任者
- ・P&G、フィリップモリスにおいて、ITを活用した事業課題の解決や、多国籍IT部門の運営に従事。2013年から2021年まで、日清食品グループのCIO（最高情報責任者）として、システムのグローバル化とITを活用した働き方改革に携わる。

2018年 経済産業大臣賞受賞、2020年 DX銘柄選定。

2020年 経済産業省DXの加速に向けた研究会 委員（DX推進指標、DXレポート2）
情報処理学会アドバイザリーボードメンバー（2020年～）

【講演概要】

日清食品のCIOとして、2020年のCOVID-19対策にどのように取り組んだかについて、2月（コロナ流行前）⇒3月～4月（初期流行）⇒5月～7月（継続対応）⇒8月（新スタイル）の4つ時期に分けてデジタル活用の主なプログラムのお話がありました。

オリパラ対策としてコロナ前にテレワークの準備はしていたものの、2月末に突然社員3,000人が出社禁止となり、環境を整えることが急務となりました。とにかくスピード重視で、まず明日やることを決め、状況を観察（Observe）⇒情

Best Practice and Competence/PM事例・知識

■PMI Japan Festa 2021 結果報告

勢を判断・適応（Orient）⇒意思決定（Decide）⇒行動（Act）というOODA Loopを回すことにより進められました。前例がなく、正解がないコロナ対策は、時には失敗して元に戻ることも必要でした。

DXにアプローチする前に、「あなたの会社のBusiness Goalは？」、「あなたの会社が対峙するKey Issueは？」ということをまず考えることが必要であるということを強調されていました。「デジタルを武装せよ」というスローガンを掲げ、全社総力戦で取り組まれたココだけの話はとても参考になりました。

【講師担当余話】

喜多羅様との出会いは、10年以上前、mixiのランニングコミュニティでした。港北駅伝で襷を繋いだのも今ではとても良い思い出です。その後FBでもつながり、2015年のFestaではパネルディスカッション「グローバルプロジェクトを斬る」というテーマでパネラーとしてご登壇いただきました。FBの投稿でご活躍の様子を拝見している中で、いつか単独でご講演をお願いしたいと思っていたところ、今年そ

れが実現しました。

ご講演の最後に今年6月にオリンピック聖火ランナーとして走られた写真を紹介され、みなさんとイノベーションの灯をともしていきたいという強いメッセージで締めくくられましたが、今後益々のご活躍を期待しております。喜多羅様、ありがとうございました。



図の拡大はココをクリック

【Festa2021】セミナーレポート(No.9)

次世代・次々世代に繋ぐスマートシティを考える ～国際比較からの示唆～

講師：南雲 岳彦 様

レポート：セミナー・プログラム 豊田 光海

【セミナー概要】

□開催期日：2021年11月7日(日) 14:00～15:00
□タイトル：次世代・次々世代に繋ぐスマートシティを考える
～国際比較からの示唆～

□講師：南雲 岳彦 様

□講師のプロフィール：

・一般社団法人スマートシティ・インスティテュート 専務理事

- ・三菱UFJリサーチ&コンサルティング専務執行役員
- ・国内外のスマートシティおよびデジタル・ガバメントに関する調査研究・政策提言・戦略アライアンス構築に従事
- ・東京都、浜松市、鎌倉市、東広島市等におけるスマートシティ関連委員・アドバイザーを兼任

【講演概要】

冒頭で「スマートシティという言葉をよく耳にしますが、

Best Practice and Competence/PM事例・知識

■PMI Japan Festa 2021 結果報告

皆さんはどのようなことをイメージするでしょうか？」という問いかけがありました。世界的にみれば2050年までに世界の人口の約7割が都市に住み、社会にかかわる色々な課題が都市に集中するということが、スマートシティを考える上での出発点となっているというお話で講演が始まりました。

「日本のスマートシティの現在地」、「日本のスマートシティは、市民に幸福をもたらすだろうか」、「世界のスマートシティは、どこに向かおうとしているのか」、「国際比較を通して、まちづくりを社会思想レベルから再考する」という4点について、さまざまなデータを基に、色々な角度から非常にわかりやすくご説明を頂きました。

世界的には地球環境に注目し、自然環境への対応が最優先で、環境・社会・経済の統合的な社会システム（ガバナンス）の構築が急務となっています。

日本のスマートシティは、社会実験の段階を経て、様々な基盤を整備、産官学民協働で実装する本格段階に入っていますが、世界的にみると非常に低い位置にいます。

スマートシティの最終目的は、市民の幸福感（Well-Being）の向上で、幸福感には政治的な自由度（民主主義の度合いの高さ）と経済的自由度の高さが大切、相関性も高いと言われています。成功例として、ノルディック・モデルと言われる北欧の事例をご紹介頂きました。

【講師担当余話】

南雲様とは、8年前、数カ月間限定のランニング練習会のキックオフパーティーで同じテーブルでした。その時は同じテーブルの方々とランニングの色々な話で盛り上がり楽しい時間を過ごしました。その後の練習会では、フルマラソンの目標タイムが違ったため、一緒にチームで練習することがなくお話しすることはありませんでした。ずっとFBでご活躍を拝見している中で、Festaでいつかご講演をお願いしたいと思っていましたが、8年ぶりに突然FaceBook Messengerでご連絡をさせていただいたにも関わらず、快く講演をお引き受けくださいました。南雲様、突然のご連絡にも関わらず、ご講演をご快諾いただきありがとうございました。



図の拡大はココをクリック

【Festa2021】セミナーレポート(No.10)

築地本願寺の経営改革

講師：安永 雄玄 様

レポート：セミナー・プログラム 近藤 昇久

【セミナー概要】

□開催期日：2021年11月7日(日) 15:15～16:15

□タイトル：築地本願寺の経営改革

□講師：安永 雄玄 氏（浄土真宗本願寺派築地本願寺 代表役員宗務長）

□講師のプロフィール：

銀行マン、外資系企業、大学院教授から僧侶へ転身した異色の経歴の持ち主で、東京を代表する大寺院である築地本願寺の宗務長（トップの役職）に就任。400年の歴史に安住していた保守的な仏教寺院の経営大改革に取り組む。

誰もが気軽に参拝できる“開かれた寺”を目指し、「合同墓」、「カフェ」、「サロン」「婚活相談」など時代の変化に合わせた寺院のリブランディングを実行する。

コロナ禍においては素早くニューノーマルに対応し、自宅で法事を行えるようオンライン化、さらにYouTube「築地本願寺チャンネル」を開設し、コロナ禍でも心を安らげる法話や寺院内で開催するパイプオルガン・コンサートを配信している。

その経営手腕の評価は高く、テレビ東京のビジネス情報番組「カンブリア宮殿」に2019年、2020年と2回特集された。

【講演概要】

講演の冒頭に、ビジネスパーソンから僧侶に転身した理由をお話していただきました。銀行員時代の仕事にうしろめたさがあり、一生懸命働いていても、社会に役に立っているかという疑問が残っていたそうです。私心よりも他者への貢献、社会的貢献を重要と考えていたところ、偶然に新聞広告で仏教の通信教育課程を見つけ、僧侶の道へと進まれました。

社会環境の変化にともない檀家制度が崩壊し、お寺の経営も厳しい状況です。一方で、宗教心を大事だと思うひとは7割もいて、心の救いを求めるひとに答えられない伝統仏教があるといえます。企業経営も寺院経営も同じ、顧客ニーズに応えることが重要とおっしゃいます。

そこで安永様は、顧客目線で築地本願寺の経営改革に取り組まれます。「ひらけ!!築地本願寺」のスローガンのもと、お寺が人々の人生に寄り添い、今の社会に合った形にリブランディングします。まず、境内地を改装し、カフェやブックショップを併設したインフォメーションセンターを設置し、総合的な相談窓口となるとともに、お寺に用がなくても気軽に来てやすらげる場所を作りました。そして、心のサポートをする「よろず僧談」、生きがいをサポートするカルチャースクール、終活サポート、婚活サポートと人生のさまざまなステージに対応するサービスを展開していきます。

講演の最後に「コロナの時代にこころ豊かに生きる5つの条件」というメッセージで締めくくっていただきました。

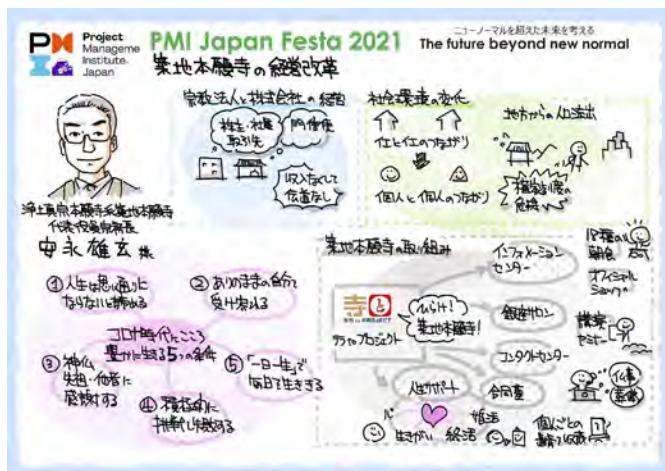
1. 人生は思うようにはならないと諦める。
2. 承認欲求を否定し、ありのままの自分を受け容れる。
3. 神仏や、先祖、両親、ご縁のある他者に常に感謝する。
4. 積極的に挑戦して、失敗する。
5. 「一日一生」で毎日を生き切る。

【講師担当余話】

安永先生と初めてお会いしたのは2019年4月、私が社会人大学院に入学して、安永先生の「リーダーシップ開発と倫理・価値観」という講座を受講したことがきっかけでした。その講座は、ビジネスリーダーとして「ありたいリーダー像」を学生自ら考え、その「ありたいリーダー像」に至るまでの自己開発の方法論を熟考するという、普段の生活・仕事では意識することが少ない、リーダーとはどういうものか自分の倫理観・価値観を掘り下げ、内面と向き合う貴重な時間でした。

今回のPMI Japan Festaでの講演でも、「コロナの時代にこころ豊かに生きる5つの条件」というメッセージをいただき、ビジネスリーダーのみなさんにとって、生き方・在り方を振り返るきっかけとしていただけたのではないかと思います。

■PMI Japan Festa 2021 結果報告



図の拡大はココをクリック

【Festa2021】セミナーレポート

その他講演のグラフィックレコーディング



図の拡大はココをクリック



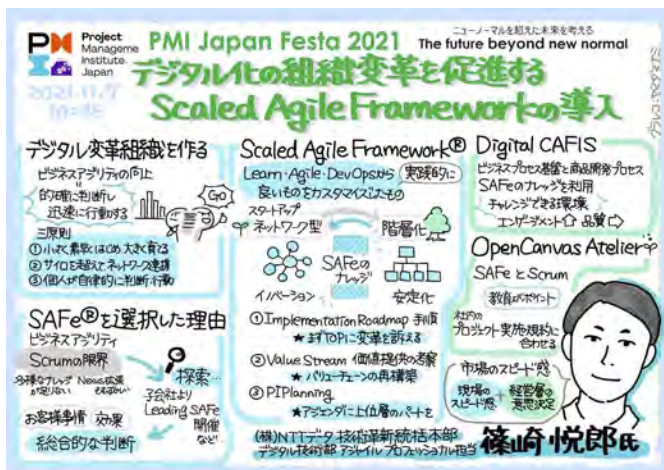
図の拡大はココをクリック



図の拡大はココをクリック



図の拡大はココをクリック



図の拡大はココをクリック

委員会・部会活動内容紹介

■医療プロジェクトマネジメント研究会

代表 岡橋 正明

医療プロジェクトマネジメント研究会は、PMI日本支部唯一の医療系研究会であり「医療業界に適したプロジェクトマネジメントの形を探求する」をミッションとして活動しています。

医療プロジェクトって何？と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、簡単にご紹介します。

■診療プロジェクト

患者さんの入院診療、クリニカルパス作成プロジェクト等

■医療ITプロジェクト

電子カルテシステム、レセプト請求システム、部門検査機器等の導入・更新プロジェクト

■医学研究プロジェクト

疾患の病態解明、臨床研究等

■創薬等プロジェクト

医薬品、医療機器、再生医療等製品開発プロジェクト等

■スマートシティプロジェクト

Electric Health Recordに基づくスマートシティ開発プロジェクト等

このように非常に多くの種類のプロジェクトが存在します。また、医療従事者だけではなく、製薬企業、医療機器メーカーのほか、ITベンダーやスマートシティでは不動産業者、視覚障害者のモビリティでは自動車産業等、非常に幅広い業種の人が関わるのが医療プロジェクトの特徴です。また、医療従事者は専門職集団ですので、専門性の高さが重視され、高度な知識、芸術的とも言える技術を磨くことに熱心ですが、一方で、マネジメント教育を受けないままいきなり管理職になるというケースも多く、何をどうマネジメントすればいいのかわからないという戸惑いを持ちながら、カリスマ的な専門性でチームを動かしているというケースが多いのも事実です。当研究会では、このような特徴を有する医療プロジェクトに

最適なプロジェクトマネジメントのあり方を探求しています。

このように、非常に多種多様なプロジェクトが存在することから、研究テーマを研究会側で一律に決めることは難しく、研究会メンバーの持ち込みテーマを全員で深掘りするという形で活動しています。そのような活動方法のため、「あの研究会は、普段、何をしているのかわからない。」と評されることがありますが、その成果物は関西ブランチだけでなく日本支部の中でも顕著です。

毎年7月に開催されるPMI日本フォーラム並びに年末に開催している関西ブランチ成果発表会での発表はもちろんですが、対外発信も積極的に行っています。「医療プロジェクトマネジメント～医療を変える国際標準マネジメント手法～」並びに「教育プロジェクトマネジメント～教育を変える国際標準マネジメント手法～」の書籍出版、医薬品等開発の開発業務受託機関の業界団体である日本CRO協会での「プロジェクトマネジメントセミナー」の開催等を行ってきました。



Best Practice and Competence/PM事例・知識

■委員会・部会活動内容紹介



日本CRO協会プロジェクトマネジメントセミナー

そして現在、「モダリティ多様化時代の創薬の研究・開発マネジメントメタモデルの創出」をメインテーマに活動を行っています。

当研究会の活動は、定例会を毎月第4土曜日13:00～16:00に神戸TRI及びオンラインで開催し、研究テーマについてフリーディスカッション形式で深掘りするのが主体です（研究進捗状況により、Ad Hoc Meetingを開催する場合があります）。専門性が高い一面もありますが、医療業界以外の

方には専門用語をわかりやすく解説し、理解しやすいように説明しています。

当研究会に関心をお持ちの方は、

<https://www.pmi-japan.org/session/application/application.php>

からお申し込みください。とりあえず、どんなところか見学してみたい、という方も大歓迎です。

よろしくお願いいたします。

Activities / 支部活動

PMI日本支部リーダーシップ・ミーティングLM2021開催報告

PMコミュニティ活性化委員会 委員長 森田 公至

LM2021運営チーム・リーダー 伊熊 昭等

2021年9月12日(日)にオンラインによる「PMI日本支部リーダーシップ・ミーティングLM2021」を開催しましたので報告します。

■ LM2021のテーマ

リーダーシップ・ミーティングは、戦略委員会のひとつ、PMコミュニティ活性化委員会（委員長 森田公至理事）が中心となって企画・運営しています。PMI日本支部（以下「日本支部」）の各部会（委員会、研究会、プログラム）から、リーダーやアクティブメンバー2～3人に参加いただき、今後のPMI本部や日本支部のビジョンや方向性、施策などを共有したり、参加者のリーダーシップ育成を目指したワークショップを行ったりすることで、よりアクティブな部会活動を促し、PMコミュニティを活性化させるのが目的です。

今年で7回目になるLM2021では、部会メンバー49人、会長・理事・監事18人（内、運営チーム9人）、PMIアジア・パシフィック5人、事務局2人の合計87人が参加し、まる一日にわたり熱い議論が展開されました。

PMIでは、世界的なプロジェクトマネジメントの役割の進化に伴い、主要なターゲットであるプロジェクトの専門家が新しいスキルの取得やスキルアップをすることをサポートすると同時に、「PMI 4.0」を全てのチェンジメーカーをターゲットとして拡大していきます。2021年の主テーマは、PMI本部から提示された「PMI 4.0」という戦略をPMI日本支部としてどう解釈し、各部会や個人レベルで、どのような意識でこれに 대응していくのかを、リーダーシップ育成を目的にして取り上げてみました。

■ 基調講演

片江会長の挨拶と開会宣言後、LM2021最初のアジェンダである基調講演は、「PMI 4.0戦略概要」という題目で、シ

ンガポールからリモート参加でソヒュン・カンさん（SoHyun Kang、リージョナル・エンゲージメント・ヘッド、アジア太平洋地域支部統括マネジャー）にスピーチをいただきました。



ソヒュン・カンさん（PMI AP）

—— “チェンジメーカーは学生、起業家、PMプロ、専門家、ビジネスリーダーなど、社会の変化と変革に取り組む人です。PMIは、5歳から105歳まで、変化を推進するために必要なツールとスキルを提供したいと考えています”
（カンさん談）

プロジェクトマネジメントの役割の進化に伴いPMI自身も変化が必要であるとの認識のもと、PMIは人々がアイデアを実現できるよう支援することを目標とし、PMI 4.0を「チェンジメーカーのPMニーズに対処するための成長戦略」と位置づけ、ステークホルダー・ユニバースと製品ポートフォリオの拡張により、PMIは「世界への影響力を10倍に拡大することができる」ということ、さらにPMI 4.0の戦略的重点分野での日本支部との連携や期待について、プレゼンテーションして頂きました。今年は、英語⇄日本語相互の同時通訳が使われ大変理解を深めることができました。

次に、ミッション委員会の委員長である端山副会長から

Activities / 支部活動

■PMI日本支部リーダーシップ・ミーティングLM2021開催報告

PMI日本支部として「PMI 4.0にどう取り組むか」という題目で講演して頂きました。



端山副会長（ミッション委員会委員長）

——“プロジェクトマネジメントは「役に立つ道具」であるが、彼ら（チェンジメーカー）にとっては「主題」ではない。感謝されても会員にはならない。効果を上げるために、既存の施策の見直しや改善が必要”（端山委員長談）

PMI本部からPMI 4.0という戦略が提示されましたが、PMI日本支部として「組織の方針・戦略はどう解釈し展開すべきか」をミッション委員会等で行った議論を踏まえ、経験に基づく見方と解釈を追加してブレイクダウンした説明がありました。PMI日本支部の2020-2022中期計画として、「課題1：カスタマー第一主義ですべての世代に魅力ある価値の提供」、「課題2：プロジェクトマネジメント（PM）の社会への認知」、「課題3：1、2の課題を支える持続可能な支部組織の強化」について説明がありました。さらに、PMI日本支部会員の年齢構成が高齢化している現実を踏まえ、PM認知度を高める方法、PMI日本支部に所属する価値や会員に提供する価値をどう高めるのか、誰にどんな魅力を訴求して入会を促すかなど、PMI日本支部の中期計画の方向性についての説明がありました。

■ワークショップでのグループ討議と成果発表

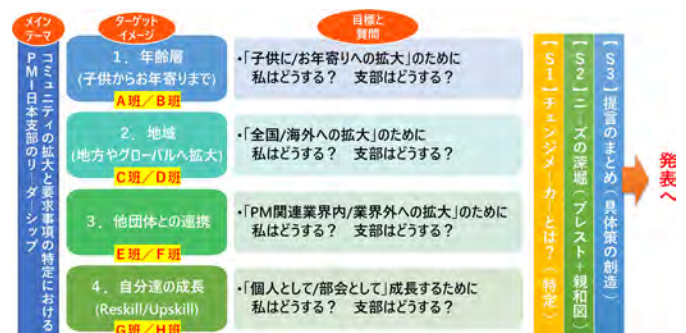
午後は、今年の主テーマである「コミュニティの拡大と要求事項の特定におけるPMI日本支部のリーダーシップ」という題目でワークショップ（WS）を行いました。WSのファシリテーションは、慶應義塾大学大学院 当麻哲哉教授とLM初参加の石井 真さんに担当していただきました。まず、当麻教授によりWSの概要とGoogleスライドの使い方など進め方の説明がありました。



ファシリテーター 当麻哲哉教授

グループ討議では、AからHの8グループ（討議メンバーは各7～8人）に分け、なるべく部会メンバーがバラバラになるよう考慮しました。4つのターゲット・イメージ：「年齢層（子供からお年寄りまで）」、「地域（地方やグローバルへ拡大）」、「他団体との連携」、「自分達の成長（Reskill/Upskill）」について2つのグループが同じテーマを討議するということにしました。オンラインでの討議をスムーズに進めるため、今年も、運営チームのメンバーが一人ずつ「WSサポート」という役割で各グループへ入り、ツールの使い方や進行をサポートしました。WSは、以下のように進められました。

「セッション0：アイスブレイク」：自己紹介や役割決め、「セッション1：チェンジメーカー（Changemakers）とは？」チェンジメーカーを特定して周りにいるチェンジメーカーをイメージしてディスカッションやグループ内での感想や気付きを互いに共有しました。「セッション2：ニーズの深堀」ブレインストーミングと親和図法を用いる。「セッション3：提言をまとめる」各要件に合わせて具体的に提言をまとめることにし、代表発表者や発表形式を決めグループ発表の準備をしました。



ワークショップの構成

Activities / 支部活動

■PMI日本支部リーダーシップ・ミーティングLM2021開催報告

最後は、各グループの成果発表と質疑応答です。各グループの発表5分間で質疑も含め10分間で行われました。各グループは、さすが、プロフェッショナルなメンバーの集まりで、工夫を凝らし、訴求ポイントのまとめ方、成果発表レベルとも大変素晴らしい内容でした。

成果発表の最後に参加者全員によるZoomの投票機能によ

り、「ターゲット：地域」という課題に対して「チェンジメーカーは、楽しくなければ続かない、友達100人できるかな、イグPMアワード(Aha! WOW)」などの提言を行ったDグループと、「ターゲット：年齢層」という課題に対して「伴走型支援、PMIとしてのプロボノ提供、駆け込み寺・メンター」の提言を行ったAグループの2グループが優秀賞に選ばれました。



Dグループの発表者 西原さん



Aグループの発表者 稲葉さん

【D】セッション3-1：提言を考える			
戦和国のまとめから提言へ（次ページ）			
国内外の地域コミュニティ拡大に役立てることができるのか？			
チェンジメーカーのニーズBEST3（戦和国から）	個人としてできること	都会としてできること	支部としてできること
癒しがほしい 安心できる場所	すなっく会員 呑みねーしょん	松遊婆ママ・パパ	すなっく「いいえむ」 オンライン講座
楽しいことがしたい	気軽に発案する	この指とまれ、の共有	ご褒美 イグ・PMアワード Aha! WOW
仲間を作りたい 誰は何をする人ぞ	YouTube発信 地域を応援する PMI版R1グランプリ	失敗しても大丈夫！ 地域コミュニティ4.0 ケンミンショー参加 国（グローバル）自慢	姉妹都市の縁組み ケンミンショー後援

Dグループのトップメッセージ

【A】セッション3-1：提言を考える			
戦和国のまとめから提言へ（次ページ）			
国際的なコミュニティ拡大に役立てることができるのか？			
チェンジメーカーのニーズBEST3（戦和国から）	個人としてできること	都会としてできること	支部としてできること
何したらいいんだ？	自分の言葉で伝える研修の実施 企画、運営作成への参加	・部会の知見・経験・ノウハウを活かしてコンテンツの集約 ・部会の知見・経験・ノウハウを活かしてコンテンツの集約	・問いの立て方と解決策の研修・ワークショップの提供 ・漫画でわかるシリーズを作 って広める
仲間が欲しい。さびしい。	・仲間を紹介する ・活動に参加する ・自分が社会のインフルエンサーになる！	・コミュニティの仲間として一緒に活動 ・仲間集め	・マッチングサイト作る ・コミュニティを創る ・PMIだからできるエンゲージの拡大
どうやったらいいんだよ！	・サービスの提供 ・「センセイ」になるのではない。現場で一緒に考えて動く	・現場で部会メンバーと一緒に課題解決 ・一緒に悩みを考える	・伴走型支援 PMIとしてのプロボノ提供 駆け込み寺・メンター

Aグループの提言

【D】セッション3-2：提言をまとめる

提言をまとめて発表準備（自由書式、スライド追加自由）

Dチームからのトップメッセージ

相方が必要

チェンジメーカーだけでチェンジメーカーにはなりえない！

失敗しても大丈夫！

チェンジメーカーは、楽しくなければ続かない

ともだち100人できるかな？

Dグループの提言

Activities / 支部活動

■PMI日本支部リーダーシップ・ミーティングLM2021開催報告

解散式では、LM2021のPMである藤原 慎理事による全体講評がありました。



講評 藤原理事 (LM2021 プロジェクト・マネジャー)



乾杯挨拶 山本理事

今年も、一昨年までのような全員が一同に会した夕食とネットワーキング、その後の懇親会（二次会）という形はとれませんでした。Zoomのブレイクアウト・セッションを使ってランダムにグループに分け、「リモート・ネットワーキング」を行いました。山本智子理事の乾杯挨拶後、各自が準備した飲み物で各部会間の交流促進ができたものと思います。これらの議論が来年度の各部会の活動計画に反映されるとともに、日本支部のミッション委員会に引き継がれ中期計画遂行のための材料になることが期待されます。なお、参加者へPMP資格維持のPDUとしてLeadership 5.5PDUが付与されました。

■LM2021の効果

LM2021の効果について、組織活性化の観点と、個人のスキル向上の観点の2点に大別してまとめます。

1. 情報共有によるPMコミュニティの活性化

PMI本部や日本支部の活動の方向性がオープンになり、会長・理事・部会リーダー・アクティブメンバーが一緒になっ

てコミュニケーションする場を持つことで、アクティブメンバーにとってのボランティア活動の価値がより深く理解され、モチベーションの向上につながり、日本支部での活動が活発化される効果が期待されます。

2. 個人のリーダーシップ・スキル向上

LMで日本支部活動でのコミュニケーション拡大として必要なターゲット・イメージを設定して議論し、課題と提言をまとめるというワークショップに参加することで、部会の中でのリーダーシップ発揮に役立つだけでなく、各自の実務におけるプロジェクトマネジメント実践にも役立つスキルを習得できます。従来のLMでは、アイデア創出の思考能力開発、問題解決手法の習得、ビジョンと活動をつなぐロジックの構築とベネフィットのKPI設定など、どちらかといえばPMI日本支部内を中心とした活動方法を学びましたが、近年はそれらを総合的に活用して「PMI日本支部外への活動拡大、ニューノーマル時代に適合した支部活動」への解決策を討議するリーダーシップの実践の場となっています。また、学んだことを部会活動に適用できるように、希望する部会にはフォローアップをするようにしています。



LM2021運営チーム・リーダー 伊熊 昭等

■最後に

日本支部として7回目となるLM2021は、開催方法が一昨年までの宿泊・合宿方式と異なる方法であったにもかかわらず、これまでの企画、準備、実施の経験が生かされ、運営チームと事務局が連携したチームワークも良く、ワークショップの運営でも臨機応変の素早い対応ができた成功裡に終了することができました。参加いただいた部会リーダー、アクティブメンバーの方々へのアンケートでは、高い満足度評価をいただき、プロジェクト憲章の「成功の基準」を達成することができました。

Activities / 支部活動

■PMI 日本支部リーダーシップ・ミーティングLM2021 開催報告

LM2021 開催の準備・運営の企画は、LM2015からLM2020までの運営を経験した伊熊昭等、吉田謙一氏、松本弘明氏、高橋正憲氏、当麻哲哉氏、中本妙華氏、岩岡泰夫氏、山本智子氏、谷藤樹之氏、に加えて、新たなメンバーとして、藤原 慎氏、関矢梨花氏、石井 真氏とPMコミュニティ活性化委員会委員長の森田理事を加えた14名から構成する強力なLM2021運営チームで推進しました。6月のキックオフミーティング後チームを立ち上げてから開催までわずか3カ月の短い期間であったものの、伊熊リーダーを中心としてメンバーの献身的な努力と、日本支部の寺田尚弘事務局長、事務局の豊田ちづる氏他のご尽力もあって、開催にこぎつけ

ました。

他のチャプターでは例を見ない日本支部独特のリーダーシップ・ミーティングを開催することにより、日本支部のPMコミュニティをより一層活性化させることができ、毎年恒例のイベントとして継続的な開催が定着しています。アンケート結果をもとに、次年度に向けてさらなる改善を検討していきたいと思います。

参加された皆さま、およびご協力くださったボランティア・メンバーやスタッフの方々に、この場を借りて心からの感謝を申し上げます。



LM2021 参加者

PM Calendar / PMカレンダー

PMI日本支部のイベントならびにPM教育関連セミナーなどの案内です。
新型コロナウイルス拡大防止の観点から、全てのセミナーをリモート化して実施しています。
詳しくは、PMI日本支部のWebサイトをご参照ください。

【ホームページにて公開中・準備中】

■ PMI日本支部関連セミナー/ワークショップ

● 2022年 新春特別セミナー

- 日時：1月22日(土) 10:00～12:00
- 形式：リモート開催
- 2PDU、ITC実践力ポイント2時間分

● ソーシャルPM実践ワークショップ

- 日時：2月26日(土) 9:30～17:00
- 形式：リモート開催

■ PMI日本支部関連イベント

● PMI 日本フォーラム 2022 (予定)

- 日時：2022年7月9日(土)～10日(日)

【月例セミナー開催について】 2022年度の月例セミナーは、下記の日程で行います。

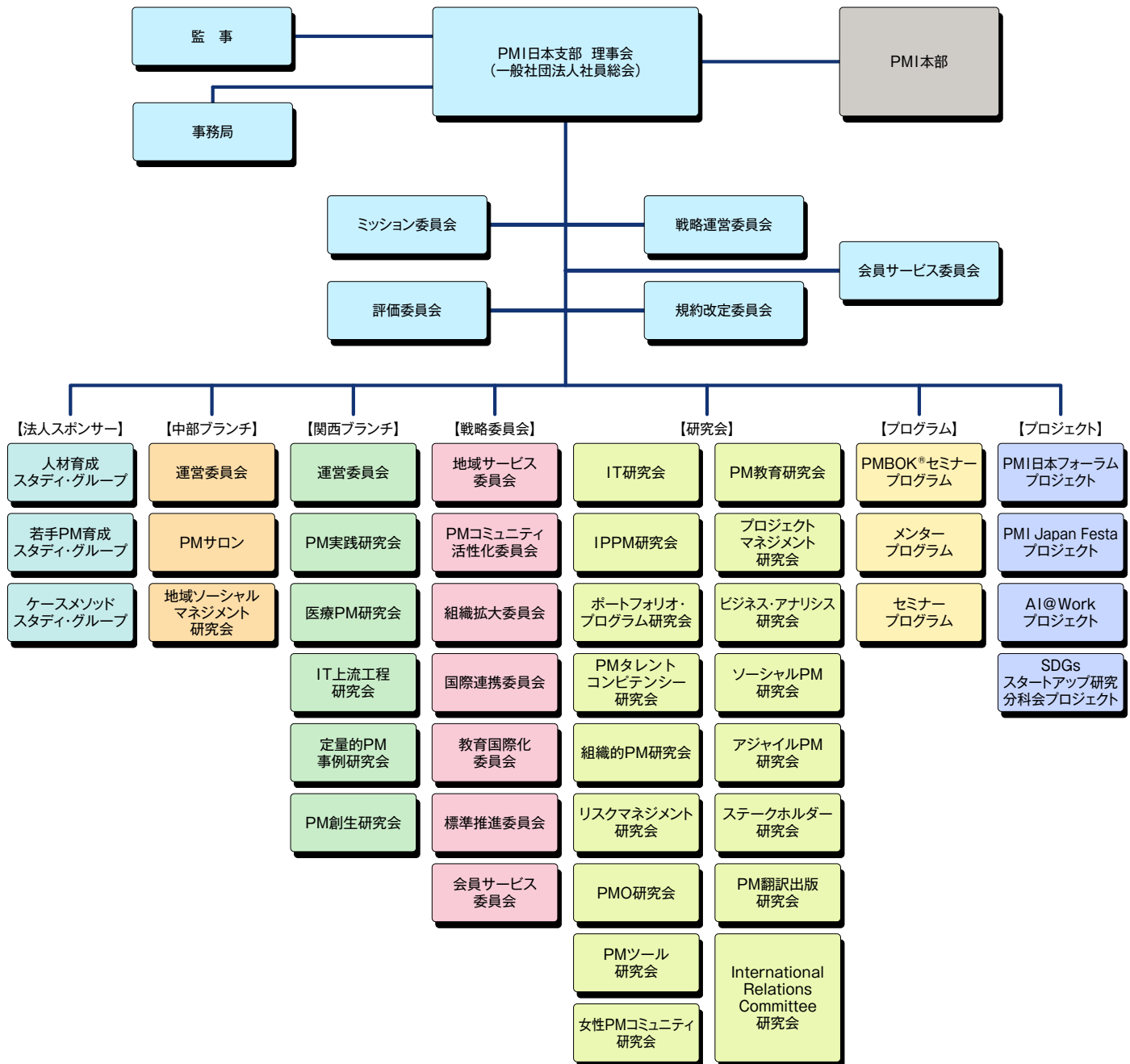
【日程(予定)】	(2022年1月22日(土) 新春特別セミナー)	
	① 2022年2月18日(金)	⑤ 2022年6月17日(金)
	② 2022年3月18日(金)	⑥ 2022年8月20日(土)
	③ 2022年4月16日(土)	⑦ 2022年9月16日(金)
	④ 2022年5月20日(金)	⑧ 2022年12月16日(金)

*なお、イベント、セミナー、コースなどは、諸般の事情により変更または中止される場合があります。
PMI日本支部ホームページで確認をお願いいたします。(https://www.pmi-japan.org/event/)

Fact Database / データベース

PMI日本支部やPMP®資格取得者に関する最新情報をお届けします。

■ 支部活動 (2021年12月現在)



Fact Database / データベース

■理事一覧 (2021年12月現在)

会 長	片 江 有 利	株式会社システムコストマネジメント
副会長	麻 生 重 樹	日本電気株式会社
副会長	浦 田 有 佳 里	TIS 株式会社
副会長	奥 澤 薫	KOLABO
副会長	斉 藤 学	スカイライト コンサルティング株式会社
副会長	端 山 毅	株式会社NTTデータ
副会長	森 田 公 至	キンドリルジャパン合同会社

(以下、五十音順)

理 事	井 奈 波 誠	JBCC 株式会社
理 事	井 上 雅 裕	慶應義塾大学
理 事	岩 岡 泰 夫	株式会社国際開発センター
理 事	金 子 啓 一 郎	三菱電機株式会社
理 事	杉 原 秀 保	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
理 事	千 葉 昌 幸	株式会社三菱総合研究所
理 事	中 村 亜 子	株式会社パーソル総合研究所
理 事	藤 井 新 吾	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
理 事	藤 原 慎	株式会社NTTデータユニバーシティ
理 事	松 本 弘 明	株式会社オプティム
理 事	水 井 悦 子	エンパワー・コンサルティング株式会社
理 事	山 本 智 子	川崎医療福祉大学
理 事	除 村 健 俊	芝浦工業大学
理 事	渡 辺 哲 也	株式会社日立アカデミー
監 事	島 崎 理 一	OPTYWORKS 株式会社
監 事	山 中 良 文	JFEシステムズ株式会社
監 事	渡 辺 善 子	株式会社日本政策金融公庫、JBCC ホールディングス株式会社

■最新の会員・資格者情報 (2021年11月30日現在)

会員数	
PMI 本部	日本支部
682,665人	4,894人

資格保有者数										
PMP®		PMI-SP®	PMI-RMP®	PgMP®	PMI-ACP®	PfMP®	PMI-PBA®	CAPM®	DASM	DASSM
世界全体	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住
1,258,771人	39,935人	7人	11人	16人	253人	10人	17人	333人	12人	11人

■ 行政スポンサー (2021年12月現在)

- ・三重県 桑名市
- ・滋賀県 大津市

■ 法人スポンサー 一覧 (110社、順不同、2021年12月現在)

- ・TIS株式会社
- ・日本アイ・ビー・エム株式会社
- ・株式会社NSD
- ・株式会社インテック
- ・キヤノンITソリューションズ株式会社
- ・日本電気株式会社
- ・アイアンドエルソフトウェア株式会社
- ・株式会社NTTデータ
- ・プラネット株式会社
- ・日本ユニカシステムズ株式会社
- ・株式会社クレスコ
- ・ラーニング・ツリー・インターナショナル株式会社
- ・日本ヒューレット・パカード株式会社
- ・株式会社アイ・ティー・ワン
- ・株式会社タリアセンコンサルティング
- ・株式会社大塚商会
- ・日本プロセス株式会社
- ・株式会社NTTデータ関西
- ・日本ユニシス株式会社
- ・JBCC株式会社
- ・株式会社パーソル総合研究所
- ・日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社
- ・株式会社アイテック
- ・株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア
- ・株式会社日立アカデミー
- ・情報技術開発株式会社
- ・アイシンク株式会社
- ・三菱総研DCS株式会社
- ・ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
- ・東芝テック株式会社
- ・三菱スペース・ソフトウェア株式会社
- ・株式会社三菱総合研究所
- ・NTTデータアイ株式会社
- ・日鉄ソリューションズ株式会社
- ・株式会社日立ソリューションズ
- ・日本自動化開発株式会社
- ・日揮グローバル株式会社
- ・株式会社野村総合研究所
- ・株式会社アイ・ティ・イノベーション
- ・株式会社JSOL
- ・ニッセイ情報テクノロジー株式会社
- ・株式会社リコー
- ・株式会社システム情報
- ・住友電工情報システム株式会社
- ・株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・ユニバーシティ
- ・株式会社マネジメントソリューションズ
- ・NDIソリューションズ株式会社
- ・株式会社日立製作所
- ・株式会社システムインテグレータ
- ・日本ビジネスシステムズ株式会社
- ・コベルコシステム株式会社
- ・日本電子計算株式会社
- ・株式会社日立システムズ
- ・株式会社神戸製鋼所
- ・クオリカ株式会社
- ・株式会社エクサ
- ・株式会社ラック
- ・三菱電機株式会社
- ・TAC株式会社
- ・日本情報通信株式会社
- ・株式会社日立社会情報サービス
- ・株式会社シグマクシス
- ・株式会社TRADECREATE
- ・株式会社日本ウィルテックソリューション
- ・システムスクエア株式会社
- ・株式会社アイ・ラーニング
- ・株式会社トヨタシステムズ
- ・東芝インフォメーションシステムズ株式会社
- ・株式会社ワコム
- ・NCS & A株式会社
- ・日立物流ソフトウェア株式会社
- ・SCSK株式会社
- ・株式会社東レシステムセンター
- ・ビジネステクノクラフツ株式会社
- ・SOMPOシステムズ株式会社
- ・株式会社エル・ティー・エス
- ・株式会社日立産業制御ソリューションズ
- ・MS & ADシステムズ株式会社
- ・日本クイント株式会社
- ・リコージャパン株式会社
- ・株式会社アジャイルウェア
- ・SBテクノロジー株式会社

Fact Database / データベース

- 株式会社インテジテクノスフィア
- 株式会社ネクストスケープ
- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- 株式会社オーシャン・コンサルティング
- 株式会社リクルート
- アクシスインターナショナル株式会社
- JFEシステムズ株式会社
- アドソル日進株式会社
- キヤノン株式会社
- ビジネスエンジニアリング株式会社
- 大日本印刷株式会社
- サイフォーム株式会社
- I&Jデジタルイノベーション株式会社
- 株式会社NTTデータ・ニューソン
- キーウェアソリューションズ株式会社
- ヤンマー情報システムサービス株式会社
- アフラック生命保険株式会社
- NECソリューションイノベータ株式会社
- 株式会社パスコ
- アベールソリューションズ株式会社
- 株式会社パデコ
- MIデジタルサービス株式会社
- エス・エー・エス株式会社
- Wrike Japan
- 明治安田システム・テクノロジー株式会社
- テルモ株式会社
- トップラン・フォームズ株式会社
- ペルノックス株式会社

■ アカデミック・スポンサー 一覧 (49 教育機関、登録順、2021年12月現在)

- 産業技術大学院大学
- 慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科
- サイバー大学
- 芝浦工業大学
- 金沢工業大学
- 九州大学大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻
- 広島修道大学経済科学部
- 北海道大学 大学院情報科学研究科
- 山口大学大学院技術経営研究科
- 筑波大学大学院システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻
- 早稲田大学 ビジネススクール
- 早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科
- 公立大学法人 広島市立大学 情報科学部
- 国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校
- 大阪大学 大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻
- 愛媛大学工学部および大学院理工学研究科工学系
- 国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校
- 学校法人中部大学 経営情報学部
- 京都光華女子大学
- 鹿児島大学産学・地域共創センター
- 中央大学 文学部社会情報学専攻
- 千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科
- 京都工芸繊維大学 ものづくり教育研究支援センター
- 東京工科大学大学院 コンピュータサイエンス専攻
- 北海道情報大学
- 山口大学工学部知能情報工学科
- 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部 医療秘書学科および大学院医療秘書学専攻
- 青山学院大学 国際マネジメント研究科
- 公立大学法人 公立はこだて未来大学
- 慶應義塾大学・理工学部・管理工学科・飯島研究室
- 就実大学 経営学部
- 神戸女子大学 家政学部 家政学科
- 明石工業高等専門学校 建築学科 大塚研究室
- サレジオ工業高等専門学校 一般教育科 物理教育学研究室
- 北陸先端科学技術大学院大学 知識マネジメント領域
- 中京大学 情報センター
- 法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科
- 札幌学院大学
- 国立研究開発法人 理化学研究所 多細胞システム形成研究センター
- 岡山大学 教育研究プロジェクト戦略本部 戦略プログラム支援ユニット (URA)
- 香川大学大学院 地域マネジメント研究科 中村研究室
- 明治大学 経営学部 鈴木研一研究室
- 中京大学 経営学部 齊藤毅研究室
- 独立行政法人国立高等専門学校機構舞鶴工業高等専門学校
- 愛媛大学 教育・学生支援機構学生支援センター 丸山智子研究室
- 東京都市大学 都市生活学部 国際開発プロジェクト研究室
- 江戸川大学 メディアコミュニケーション学部 情報文化学科
- 地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立神戸アイセンター病院 研究センター
- 中央大学 国際情報学部

Editor's Note / 編集後記

執筆者の皆さまへ。お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

■ PMI Japan Festa 2021 結果報告

11月6日・7日、各界から10人のリーダーをお招きし、セミナープログラムが企画・運営する「PMI Japan Festa 2021」がウェビナー形式で開催され、盛況裡に終了しました。月例セミナーでは恒例となったグラフィックレコーディングを導入し、参加者からは「理解を深める一助となった」と好評いただきました。10講演の中から4講演の概要をレポートしました。

■ 委員会・部会活動内容紹介

部会活動の内容紹介シリーズ。今回は「関西ランチ 医療プロジェクトマネジメント研究会」を掲載しました。

■ リーダーシップ・ミーティング LM2021 結果報告

PMI本部から提示された戦略「PMI 4.0」をテーマに、部会メンバーや理事、PMIアジア・パシフィックなどからリモートで80余名が参加しLM2021が9月12日に開催されました。今年で7回目になるこの会議は、戦略委員会のひとつ、PMコミュニティ活性化委員会が中心となって企画・運営しています。その結果をご報告しました。

ニューズレター編集担当から読者の皆様へお願い

皆さまからの書評、論評、トピックス、セミナー受講レポート、プロジェクト体験記、PMP認定試験受験体験記などを募集しています。PMI日本支部事務局宛てにお送りください。

インフルエンザ・パンデミックと考えられる流行の記録は、スペインインフルエンザ（1918-1919）、アジアインフルエンザ（1957-1958）、香港インフルエンザ（1968-1969）などがあるそうです。

今、全世界が見舞われている新型コロナウイルス禍は、未来の世界では何年続いたと定義されるのでしょうか。

アフターコロナ、ウィズコロナ、ポストコロナ、言葉の定義は色々あれど、コロナウイルスとの共存が不可避となった今、PMI日本支部ではイベントのリモート開催によるメリットを活かしつつ、リモートだけでは得難いオンサイトの魅力も何とか引き出すべく模索を続けています。

2022年も、どうぞよろしくお願いいたします。

PMI 日本支部ニューズレター Vol.89 2021年12月発行

編集・発行：PMI日本支部 事務局

〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲3-15 センタービル3階

TEL：03-5847-7301 FAX：03-3664-9833

E-mail：info@pmi-japan.org

ホームページ：https://www.pmi-japan.org/

（非売品）